

香川労働局発表
平成30年10月29日(月)

香川労働局職業安定課
職業安定課長 大山 哲也
地方職業安定監察官 真鍋 裕亮
【代表】087-811-8922【夜間】087-811-8927
HP : <https://jsite.mhlw.go.jp/kagawa-roudoukyoku/>

「第5回ハローワーク業務改善コンクール」において、 ハローワーク丸亀が特別賞(マッチング促進賞)を受賞 《人材確保対策として効果を期待》

1 ハローワーク業務改善コンクールについて

ハローワーク業務改善コンクールは、ハローワーク職員の自主性・創意工夫を活かしたサービス改善の取組を全国のハローワークから募り、優れた事例を表彰し、それらの取組を全国的に共有・活用することを通し、ハローワークサービスの更なる機能強化を図ることを目的として、平成22年から2年ごとに実施しており、今回で5回目となります。

2 審査方法

全国から141件の応募があり、予備審査を通過した8件について、平成30年9月26日、厚生労働省省議室において、ハローワーク所長等がプレゼンテーションを行い、民間有識者を含む選考委員が審査しました。

3 選考委員

山根益男氏(共和電機株式会社)、竹内 一氏(株式会社ティーエスケー)、中井悦朗氏(オキナ株式会社)
小林英毅氏(株式会社英国屋)、住吉利夫氏(神奈川中央交通株式会社)
田畑一雄(厚生労働省 大臣官房審議官(職業安定担当))、岸本武史(厚生労働省 職業安定局総務課長)
本間之輝(厚生労働省職業安定局主任中央職業安定監察官)

4 選考結果

優勝 鳥取労働局ハローワーク鳥取
「求人チェッカー！～求人票の適正化とワークライフバランスの実現～」

準優勝 愛知労働局ハローワーク名古屋中
「業界の魅力発信！！～人手不足分野の人材確保に向けて～」

第三位 静岡労働局ハローワーク磐田
「【IWATA - TOOL】受給者への求人提案作業を効率化するための支援ツールの開発」

特別賞 マッチング促進賞 香川労働局ハローワーク丸亀
「Welcome Cardの多面的活用について」

特別賞 事業所支援賞 北海道労働局ハローワーク札幌北
「ハローワークが作るから意味がある！『高卒求人ピックアップレポート』で魅力ある求人づくりと一貫したサポートを」

特別賞 就職促進賞 山形労働局ハローワーク寒河江
「再就職手当シミュレーションシールの貼付による早期再就職の喚起」

特別賞 障害者機関支援賞 東京労働局ハローワーク上野
「障害者就労支援機関意見交換会～支援者だって相談したい！～」

特別賞 留学生支援賞 大阪労働局ハローワーク梅田
「外国人留学生向け3D支援 MADE IN JAPANならぬ「メイドイン大阪外セン」～手作りのあたたかさを感じる親近感のある支援へ～」

第5回ハローワーク業務改善コンクール 結果

結果	労働局	ハローワーク	取組	取組の概要	
優勝	鳥取	鳥取	求人チェッカー！ ～求人票の適正化とワークライフバランスの実現～	ハローワークにおいては、求人の適法性、内容の正確性確保のために、賃金等の求人条件に関するチェック作業に相当な時間を要していた。このため、求人データをエクセルにボタン一つで取り込み、最低賃金など多くの項目を自動チェックできる求人チェッカーを開発。従来型のチェッカーに比べ、使用方法は非常にシンプルで誰にでも使いやすく、チェックの精度を大きく高めたことで、作業時間を大幅に削減するなど、求人受理業務の効率化やヒューマンエラーの排除及び求人適正化に大きく貢献した。	
準優勝	愛知	名古屋中	業界の魅力発信！！ ～人手不足分野の人材確保に向けて～	人手不足分野(介護、建設、運輸等)の人材確保のために、まずは、求職者にその仕事に興味を持ってもらおうと、介護バーチャルリアリティ、左官・クロス張りの実演・体験、トラック乗車体験会など、業界団体と効果的に連携し業界の魅力を発信する求職者の参加型イベントを多数開催。多くの参加者を集め、人手不足業界のPRに成功。また、就職件数も35%に上昇した。	
第三位	静岡	磐田	【IWATA - TOOL】 受給者への求人提案作業を効率化するための支援ツールの開発	雇用保険受給者の早期再就職促進を図るために、雇用保険部門で認定した受給者を相談部門に誘導し、マッチングした求人情報を提供する取組を行っているが、この取組の作業の効率化のために独自のツール(保険・紹介のサブシステムからそれぞれ情報をダウンロードし、マクロ機能で紐付け、一覧で管理)を開発。このツールにより、作業時間が大幅に縮小し、その得られた時間で支援対象者数を広げ、早期再就職割合が上昇した。	
特別賞	事業所支援賞	北海道	札幌北	ハローワークが作るから意味がある！ 「高卒求人ピックアップレポート」で魅力ある求人づくりと一貫したサポートを	ハローワークが初めて高卒求人を出す事業所を訪問し、求める人物像、具体的な仕事の内容、将来の給与イメージなどを取材し、求人票には掲載できない充実した事業所PR情報を作成。高校に配付するなど高卒求人のPRをハローワークが実施。その結果、生徒の応募が増えるとともに、求人事業所とハローワークの信頼関係が深まり、条件緩和指導や労働法令遵守の理解促進につながった。
	就職促進賞	山形	寒河江	再就職手当シミュレーションシールの貼付による早期再就職の喚起	雇用保険受給者に早期再就職のメリットを理解してもらい相談・紹介につなげるため、受給者ごとの個別シミュレーションによる再就職手当の支給額を記載したシールを作成し、受給者が携行する「受給資格者証」に貼り付ける取組を行った。この結果、受給者の早期再就職の意欲向上につながり、紹介件数、紹介成功率、雇用保険受給者の早期再就職割合の数値が改善。手軽で安価な手法で大きな効果が得られた。
	障害者機関支援賞	東京	上野	障害者就労支援機関意見交換会 ～支援者だって相談したい！～	障害者就労移行支援事業者が抱える課題や疑問を吸い上げて、問題意識や解決方法を障害者支援関係者で共有するために、ハローワーク主催の意見交換会を定期的に開催し、その内容を参加機関にフィードバック。これにより、支援者のスキルアップ、ハローワークを中心とする障害者支援機関の連携強化、障害者の就職率の向上へつながった。
	留学生支援賞	大阪	梅田	外国人留学生向け3D支援 MADE IN JAPANならぬ「メイドイン大阪外セン」 ～手作りのあたたかさを感じる親近感のある支援へ～	留学生が増加傾向にある中で、大阪外国人雇用サービスセンター(大阪外セン)の利用者は横ばい。大阪外センの利用促進を図るため、日本での就活方法や面接対応を容易に理解できるように、漫画やYouTube、LINEを活用し、わかりやすく親近感を持てる内容で、気軽に学んでもらうための一連の取組を行った。その結果、大阪外センの存在・サービスが口コミで拡大し、外国人留学生の登録が増加するとともに出張ガイダンスの要望も増加し、利用者の増加につながった。
	マッチング促進賞	香川	丸亀	Welcome Cardの多面的活用について	求職者の再来所を促進し早期再就職を実現させるために、求職者に「Welcome Card～お待ちしております～」を様々なコンタクト場面で手交している。さらに求人条件に対する求職者の要望を集めて求人者に届ける「ハローワークやまびこ便」、求人条件の緩和を図り、その結果を求職者にフィードバックを行う「ハローワークやまびこボード」の取組を併せて展開。Welcome Cardを交付した求職者の1週間以内の再来率が高くなるとともに、双方の生の声を届けて労働条件の調整を図るなど丁寧なマッチングを実施することで、ハローワークに対する信頼の形成に役立っている。

「ウエルカムカードの多面的活用」の概要

ハローワーク丸亀では、ウエルカムカードを様々な場面で活用しており、相談の待ち時間対策として、求職者サービスの向上を狙って始めた取組みですが、改良を重ねることにより、求職者のニーズをくみ取って求人者に伝える役割を担うようになりました。

これは人材を確保したい求人者にとって、自社の求人に対する応募状況が確認でき、募集条件（労働条件）の向上を促すなど、人材確保のみに限らず、労働者にとっても価値のある取組みとなっています。

メリットその1、求職者サービスの向上

待ち時間が長くなる繁忙期（時間帯）などに求職者にこのカードを渡し、1週間以内の来所を促すとともに、再来した場合に最優先で相談を受けられることを説明しておきます。この時、個別求人情報とセットでお渡ししますので、自宅でゆっくりと応募先を検討することができます。

メリットその2、人材確保対策としての効果

ウエルカムカードとともに個別求人情報をお渡しした求職者から応募があればよいのですが、応募に至らなかった場合、その理由（求職者ニーズ）をハローワークが把握して求人者に「ハローワークやまびこ便」としてご提供します。求人者は自社の求人が求職者にどのように見られているのかが把握でき、募集条件の再検討を行うことが可能になります。募集条件が見直された求人は、求職者の声によってどの部分が変更されたのか、分かりやすく表示して再び求職者に提供されます。

このような取組みを通じて求人への応募を勧めており、人手不足分野と言われる職業を含め、求人と求職のマッチングが期待できる取組みです。

ハローワーク丸亀 2018 メインテーマ

「求職者の声を事業所へ、事業所の声を求職者へ ～ハローワークは双方の思いをお届けします～」

■企業説明会

若年者向け企業説明会

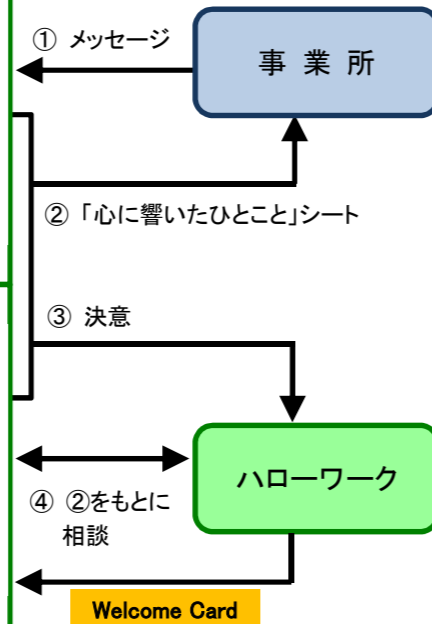
・偶数月開催
3社～5社
(人材不足対策分野含む)

参加求職者
定員 30名

生涯現役世代向け企業説明会

・奇数月開催
3社～5社
(人材不足対策分野含む)

参加求職者
定員 30名



■相談窓口・総合受付

Welcome Card —お待たせしません—

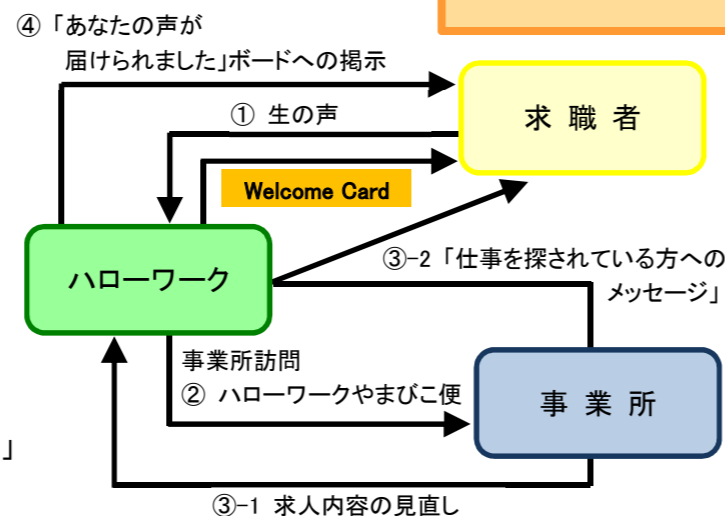
交付済の個別求人情報と共に1週間以内に持参すれば
待ち時間なく優先的に職業相談を受けることができるカード

●交付シーン

- ① 待ち時間が60分を超えた新規求職者
- ② 相談待ちキャンセル(30分超)となった求職者
- ③ 窓口混雑時に希望職種の絞り込みができていない者
- ④ 資格決定時、特に就職を急ぐ者
- ⑤ 初回認定日相談時、緊要度が高い者
- ⑥ 給付制限中の指定相談日に、就職意欲の乏しい者、一度も応募していない者
- ⑦ 正社員希望者対象の企業説明会参加者
- ⑧ 生涯現役世代向けの企業説明会参加者
- ⑨ 人材不足分野の業種(建設・介護・看護・保育・警備・運輸)に関心がある求職者

■求人充足会議

- ① 求人部門における早期充足対象求人の選定…求人5件
- ② 充足会議参加メンバーに①を交付
- ③ 開催
- ④ ①のうち3件を訪問対象求人として選定
- ⑤ 事業所訪問計画策定
- ⑥ ④を1週間相談窓口で求職者へ提示
—求職者の生の声を収集
- ⑦ ハローワークやまびこ便の作成
- ⑧ 事業所訪問
・求人内容の見直し
・「仕事を探されている方へのメッセージ」受け取り
- ⑨ ⑧を求職者へ → 「あなたの声が届けられました」
ボードへの掲示



レコメンドラベル

個別求人情報に「オススメ」求人として貼付
「この条件がこうであれば応募検討したい」と
思うことを記入

Welcome Card 活用のメリット

- ・たまたま混雑時に来所された方に対して再来の誘因となる
- ・混雑時に効率的に職業相談を進めることができる
- ・就業意欲減退期にインセンティブとして、就業意欲旺盛時に更なるエンジンとして機能させることができる
- ・準備に手間がかからない
- ・企業説明会で受け取った企業からのメッセージを求職活動にいかにかかしていくかについて、求職者と間をあげずに話し合える
- ・レコメンドラベルと併用することで、求職条件の明確化が図れる
- ・求職活動の過程における緊要度の変化に交付のタイミングを呼応させることができる

